

建築論部会講演会

建築論部会では、建築論・都市論ならびに建築史・都市史を基盤とし、その横断的な領域も含めた多様な展開を模索し、関西からその成果を発信することに取り組んできました。活動の一環として、広く開かれた議論の場を提供すべく、若手研究者の博士論文、建築論研究者や建築家の最近の業績などを中心に講演会を開催し、発表とそれに対する解題・コメント、全体討論を通じて、テーマへの深い理解と新しい知見の導出を目指しています。

猪股圭佑（武庫川女子大学）

コーラ修道院聖堂における
キリスト教絵画による空間構成

人見将敏（京都美術工芸大学）

運動体 G.A.T.C.P.A.C.
—カタルーニャの建築・都市の近代化過程に関する研究

コメンテーター

黒田智子（武庫川女子大学）

阿部大輔（龍谷大学）

2020年2月9日[日]13:30-17:00（開場 13:00）

13:30-13:40 はじまり／13:40-14:40 猪股氏講演／14:40-15:10 黒田氏コメント・質疑応答
15:10-15:20 休憩／15:20-16:20 人見氏講演／16:20-16:50 阿部氏コメント・質疑応答／16:50-17:00 むすび

京都美術工芸大学東山キャンパス S101 教室

〒605-0991 京都府京都市東山区川端通七条上ル（京都駅から徒歩15分、京阪七条駅から徒歩すぐ）

主催 | 日本建築学会近畿支部建築論部会 <http://kinki.aij.or.jp/activity/theory>

参加 | 無料（定員100名、準備の都合上2月6日までに下記メールアドレスにご連絡ください）

お問合せ | 主査・山本一貴（神戸大学） yamamoto.kazuki@port.kobe-u.ac.jp